

伊勢湾貧酸素情報（第 2 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、広い範囲で 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が形成されています。

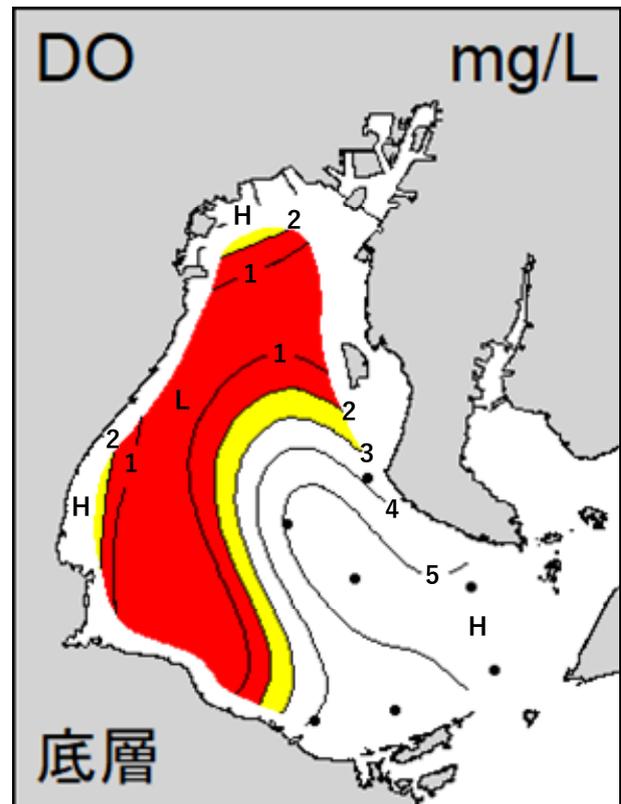
7 月 1 3 日の調査結果

7 月 13 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 19.7～23.6℃、10m で 19.8～21.5℃、底層で 17.1～20.3℃ の範囲にあり、表層は平年よりやや低め、10m 及び底層は平年並となっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 5.8～13.3 mg/L、10m で 1.8～6.0mg/L、底層で 0.2～5.8 mg/L の範囲にあり、表層は平年よりかなり低め、10m は平年並、底層は平年よりやや低めとなっていました。

底層では広い範囲で 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が形成されており、1 mg/L 以下も観測されるなど、先月の観測時よりさらに貧酸素化が進んでいました。

この時期は表層と底層の水温差が大きいことなどにより、海水の上下混合が起こりにくく、今後も貧酸素状態は継続するものと思われます。



底層貧酸素水塊分布図